

競技審判上の注意

- (1) 本大会は、2019年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則及び大会運営規程並びに公認審判員規程により行います。
- (2) 審判は、全て大会本部にて行います。
なお、サービスジャッジは都道府県対抗団体戦、個人戦ともに準決勝より配置します。その他の試合においては、原則として配置しません。
- (3) 大会日程全日においてタイムテーブルの1巡目のみ開始時間が決まっていますので、開始20分前までに招集場所に到着してください。
なお、2巡目以降は空いたコートに入る流し込み方式(招集番号順に空いたコートに入る)で行います。時間に余裕を持って会場に到着してください。
- (4) 競技の進行を円滑に進めるため、「オーダー提出」「選手招集」等の放送に十分注意してください。
- (5) 試合が連続する場合は、都道府県対抗団体戦・個人戦とも原則として、試合終了後15分後に次の試合を開始します。競技役員の指示に従い、監督・コーチ・選手は選手招集場所にすみやかに集合してください。
- (6) バックバウンダリーライン後方にコーチ席2席を設けます。
団体戦におけるベンチ6席は、コーチ席から離して設置します。ベンチ・コーチ席に入ることができるのは、団体戦では登録した監督・コーチ・選手のみ、個人戦では登録した監督・コーチのみです。
- (7) コートへの入場は、主審の先導により組合せ番号の上記チーム(選手)から行います。退場は、主審の先導により勝利チーム(選手)から行います。
- (8) 各試合(マッチ)のインターバルは次のとおりです。
 - ①各ゲームにおいて一方のサイドが11点になったとき、60秒を超えないインターバルを認めます。
 - ②第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認めます。
- (9) インターバル中でのアドバイスは、同時に2人までコートに入ってもよいが、主審が「20秒」とコールしたら、すみやかにコートから離れ、選手はコートに入ってください。
- (10) 試合(マッチ)中の水分補給、汗拭き、ラケットの交換、靴ひもの締め直し等、プレーを中断する場合は、必ず主審の許可を得てください。
なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみ認めます。
 - ①ドリンク容器は、倒れてもこぼれない蓋付きボトルを使用し、主審横の指定した入れ物に入れてください。
 - ②氷嚢は、ベンチまたはコーチ席で小型の保冷バッグ(ソフトバック)等に入れ保管してください。
- (11) 主審が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認めません。
- (12) シャトルの選択は認めません。また、シャトルの交換については主審が決定しますので、指示に従ってください。
- (13) 試合中のけがや病気に対しては、主審が判断します。主審が必要に応じてレフェリー(競技役員長)を呼んだ時は、レフェリー(競技役員長)の判断に従ってください。

- (14) 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認めません。もし判定に対して疑問のある場合には、次のサービスが行われる前に「質問」をすることができます。ここで質問のできる者とは、団体戦では当該選手と監督、個人戦では当該選手とコーチ席の監督・コーチのいずれか1名に限ります。試合(マッチ)中、インプレーでない時のアドバイスはコーチ席に座って行い、試合(マッチ)中はコートそばに立ってはいけません。また、監督・コーチが他のコートに移動したいときは、必ずインプレーでないときに行ってください。
- (15) 競技フロア内での携帯電話等の使用は、一切認めません。携帯電話等は電源を切るか、マナーモードにしてください。
- (16) 試合中にモバイル機器 (i P a d ・携帯電話等) を使用したアドバイス・コーチングは禁止します。
- (17) 選手は試合開始前および終了後に、主審 (及びサービスジャッジ) と握手をすることを心掛けてください。
- (18) 試合中の服装は、白または(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、試合時必ず上着の背面中央にゼッケンを付けてください。ゼッケンは縦15～20cm、横25cmとし、都道府県名及び個人名(フルネーム)を明記してください。なお、文字の大きさは大会運営規定24条を適用(高さ6cmから10cmを厳守)し、ユニフォームの広告(ロゴ)については、平成21年8月15日付の日小連文書のとおりとします。また、ゲーム開始時には上衣の裾は下衣の中に入れてください。ゲーム中に出た場合は、インターバル時に再度入れてください。
- (19) 監督・コーチは所定の名札 (ID カード) を着用の上、服装は公認審判員規程第3条第12項第8号を厳守し、体育館シューズで入場してください。
- (20) その他は、代表者会議における打合せ事項のとおりとします。

[都道府県対抗団体戦に関する事項]

- (1) オーダー用紙は4回戦分までは、代表者会議資料にて配布します。4回戦勝者チームは、次回戦オーダー用紙を主審から受け取ってください。
- (2) オーダー用紙は、オーダー提出所に提出してください。競技審判副部長立会いのもとでオーダー確認を行いますので、定刻(指定のあった時刻)厳守をお願いします。
22日、23日の1巡目オーダー提出時刻は、【8:15】です。
2巡目以降のオーダー提出時刻は放送で案内します。
- (3) 定刻(指定のあった時刻)までにオーダー用紙の提出が無いときは、「棄権」と見なします。
- (4) オーダー提出後の選手変更は、認めません。
- (5) コート入場後の公式練習は、主審の指示により各試合(マッチ)毎に2分間行います。
なお、当初から2コート以上用いて試合を行う場合も同様に、試合(マッチ)前に2分間行います。
- (6) 1・2回戦は3試合全て行い、3回戦以降は勝敗が決定次第、打ち切りとします。
- (7) 競技の進行により、コートを並行して行うことがあります。この場合も試合の順序に関係なく、勝敗決定後、打ち切りとします。
- (8) 試合進行により3面展開で行う場合があります。その場合は、個人戦登録監督・コーチを1名追加する事を認めます。

[個人戦に関する事項]

- (1) コート入場後の公式練習は、主審の指示により同時に2分間行います。シングルスの場合は、対戦相手と行ってください。